

令和5年度第2回宮城県救急医療協議会会議録

■日 時：令和5年12月21日（木）午後3時30分から午後4時30分まで

■場 所：県庁4階 庁議室

■出席委員：17名（佐藤和宏委員、久志本成樹委員、登米祐也委員、佐々木祐肇委員、山田康雄委員、山内聡委員、入野田崇委員、小林道生委員、野村亮介委員、今井克忠委員、平賀雅樹委員、岩館敏晴委員、広瀬和之委員、佐々木隆広委員、鈴木啓一委員、土井孝博委員、佐々木太郎委員）

■開会

○ 進行より、出席者の紹介、新任委員の紹介、定足数の報告等。

■議事要旨

(1) 会長及び副会長の選任について

- 委員の互選により、会長に佐藤和宏委員、副会長に久志本成樹委員を選任。
- 佐藤和宏会長あいさつ
 - ・委員の皆様には救急医療において日頃より大変御尽力をいただいております、重ねて御礼申し上げます。
 - ・宮城県の救急医療体制の充実に向け、皆様から忌憚のない御意見をいただきたい。

(2) 第8次宮城県地域医療計画について

①第8次宮城県地域医療計画（救急医療）について

○事務局 資料1～資料3により説明。

【概要】

第8次宮城県地域医療計画（救急医療）に対する令和5年度第1回宮城県救急医療協議会における意見及びその対応並びに中間案の内容について説明し、意見を伺った。

【事務局説明】

- ・資料1のとおり、第1回救急医療協議会における意見を検討し、中間案に反映している。
- ・資料2のとおり、中間案の主なポイントをまとめている。

【委員意見等】

○佐々木隆広委員

- ・資料1の3ページの数値指標について、「病院の搬送車両の状況については、まずは現状の把握に務めたい」という回答となっている。確かに全ての医療機関が持つ搬送車両の把握は難しいと思うが、地域医療支援病院の搬送車両であれば、知事が地域支援病院を承認するに当たって「患者搬送用車両を設けること」という要件があるので、ある程度把握が可能だと思われる。もう一度検討をお願いしたい。
- ・次に、病院の応需率について、救急車の平均収容時間の中で、現場滞在時間は、各消防本部の努力により可能な限り短縮していると認識している。その上で平均収容時間を短縮するためには、医療機関の応需率を上げていく必要があると考えられるため、応需率を計画に載せて欲しい。告示医療機関の応需率を調べるのは難しいと思うが、県内の各消防本部に依頼をいただければ、協力してもらえと思うので、再度検討をお願いする。
- ・最後に、搬送困難事案の指標について、重症以上に限定している理由を教えてください。

○事務局

- ・1点目の医療機関の搬送車両の状況について、御指摘のとおり地域医療支援病院は知事の承認を得るものであり、承認の際に病院から提出される資料によって数字が拾えるかどうかを確認した上で、検討する。
- ・二点目の応需率について、消防の皆様が努力を尽くしていることから、現場滞在時間のこれ以上の短縮は難しく、平均収容時間の短縮のためには、病院の応需にかかる時間を減らすことが必要であると認識している。応需率のデータの取得については、消防課等と協議をした上で、検討を進めたい。
- ・三点目の搬送困難事案を重症以上に限定しているというについて、こちらは出展が総務省消防庁実施の「救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査の結果」という調査になり、こちらで重症以上という形で結果を公表していることに合わせて、本県においても重症以上で数値を出している。

○佐々木隆広委員

- ・コロナ蔓延時に救急搬送困難事案を県に毎週報告していたが、その時は重症に限らず報告していた。所感であるが、搬送困難事案は重症よりも軽症若しくは中等症で発生しているものが多いと認識しているため、全体を把握する上で、重症以上に限らず、数値を出した方が課題を見つけられるのではないかとと思うので、検討願いたい。

○佐々木太郎委員

- ・おとな救急電話相談の対応時間を拡充するという記載があるが、見通しについて教えてください。

○事務局

- ・おとな救急電話相談については、来年度の予算編成は見送りとなったが、対応時間拡充については、医療計画に明記する予定であるため、引き続き、対応時間の拡充に向けた取り組みを行いたい。

② 第8次宮城県地域医療計画（災害医療）について

○事務局 [資料4]～[資料6]により説明。

【概要】

第8次宮城県地域医療計画（災害医療）の国方針や素案の内容について説明し、意見を伺った。

【事務局説明】

- ・資料4のとおり、第1回救急医療協議会における意見を検討し、中間案に反映している。
- ・資料5のとおり、中間案の主なポイントをまとめている。

【委員意見等】

○山内委員

- ・資料5の（2）BCP策定の推進について、現在、EMISで各病院の貯水槽とか自家発電の重油のタイプとかを全部集約しているはずだが、それらの情報を常に最新の状態に維持しておくことが、何かあったときに必要だと思われるが、EMIS上の各病院のデータを最新にしていくか、毎年見直すということをしっかりと目標として設定することがいいと思う。

○事務局

- ・各病院の方に県からも呼びかけていきたいとは思いますが、国の方でEMIS系システム自体を今後移行するという予定があるため、そちらの状況も踏まえながら検討していきたい。

(3) 救急搬送実施基準について

○事務局 [資料7]～[資料9]により説明。

【概要】

救急搬送実施基準の改正案について説明し、意見を伺った。

○委員からの異議はなく、原案のとおり改正することとなった。

■閉会